

誓いの言葉

本日、私たちのためにこのような盛大な式典を開催していただき、本当にありがとうございます。

私たちが二十歳を迎えるまでに、家族・先生・地域の方など多くの皆様に、見守り育ていただきました。成人を代表して、お世話になった方々に心よりお礼申し上げます。

私は現在、大学に進学し名古屋市で生活しています。初めて故郷を離れて一人暮らしをする中で、ふとした時、この塩田平の風景を思い出します。田んぼや山々に囲まれ四季折々の表情を見せるこの地を思い、恋しい気分になることもあります。ここを離れるまで当たり前だった、友人や近所の人をはじめとした周りの人々との繋がり・絆も、決して当たり前のもではなかったのだと感じることが多いです。きっとこれからも、ふとした時に故郷である塩田平を懐かしく感じるのだらうと思います。

思えば、私たちが中学校を卒業してから今日までの日々は決して順調なものではありませんでした。2019年の10月には、台風により、別所線の鉄橋が不通になるなどの被害がありました。その翌年の春からは、コロナウイルスが私たちの生活を直撃しました。当たり前の日常だと思っていたものが、こうも簡単に崩れてしまうのかと、嫌というほど思い知らされてきました。私たちは今、こうして互いの二十歳という節目を祝う場に参加しています。しかし、私たちがここに集っていることも、決して当たり前のことではないでしょう。だからこそ今日は、私たちがここで顔を合わせて互いの節目を祝うことができていることを、率直に喜びたいと思います。

さて、私たちは二十歳という節目を迎えましたが、まだまだ未熟です。今後も多くの方々にご指導をいただくこととなると思います。私たちを支えてくださる皆さんへの感謝の気持ちを持ち、そうした支えの存在を当たり前のことと考えることなく、力強く優しく、たくましく生きていくことを誓って、代表の挨拶といたします。

令和6年1月7日
塩田公民館会場
(塩田中学校区域)
成人代表 羽田蒼馬